



2024年7月12日

ライオンズクラブ 国際協会335-B地区
地区ガバナー 古川繁浩

ライオンズクラブ335-B地区 2R
リジョンチェアパーソン 新田秀幸

第1回キャビネット会議 提出資料

① どのようにリジョン内に火を灯すか。

これは地区内において当リジョンの各クラブがどのような状況に有るか、更には各クラブの特性、性質等をしっかりと見極めた上で、どのようにリジョン内(各ゾーン内、各クラブ内)に火を灯すかを提案をしていかないとダメであろうと思います。

やはり主役はクラブでありメンバーであります。

実際に当リジョン内にて前期に解散→合併と試みたクラブがありましたが上手く行きませんでした。要因は様々有りましたがマッチング出来ませんでした。

2R は元々3・4リジョン、1ゾーン、2ゾーンです。その前身は3リジョンで1Z、2Zと4リジョン1Z、2Zと言う4つのゾーンが合併して出来たリジョンであり、それから4年以上が経過し、初代の RC、ZCから歴代役員の並並ならぬ努力の末で、やっと現在の形になり運営、事業が上手く行くようになってきました。

しかし、どのように火を灯すかを考えた時に思う事は、リジョンの歴史の中で一番クローズアップし、忘れてはならない教訓は過去にリジョン内で様々な理由で多くのクラブが少人数クラブになり、その結果少人数ゾーン、少人数リジョンになり、クラブの統合、合併、解散を繰り返してきたの現在であり、その今がどうかと正直に言いますと、やはりまたじり貧状態になっている現実を各クラブが真摯に受け入れる事が出来ているのであろうか？合併して一時的には人数が増え、安心してるとは言い過ぎですが、その際に更に前に進むべく方策を取っていない現実があり、合併を頂点にまたメンバー数の減少が始まるのが事実です。

クラブとしてはどのクラブも同じ方向を向いているが、メンバー個々になると方向は同じなのですが優先順位が違う事が多々見られ、その結果クラブの合併が上手く進まないなどメンバーそれぞれがクラブを見ずに自分を見てしまってる事などが多いです。リジョン内にどのように火を灯すかはメンバーがクラブを見て考え、クラブは ZC と共にゾーンを見て、同じ方向を見て感じるのが必要であり、それを行う、思う事によりリジョン内に火を灯す事に出来ると思う。その方向を示し、共に考え、共に行動をしていく。

② 会員拡大 10% (正会員・支部会員)と新クラブ・新支部結成について

会員拡大 10%の数値目標 期首会員数 585 名 (2024.5 月末)

2024.12 月末会員数 609 名 2025.6 月末会員数 633 名

- ③ リジョンの特性を生かした新しいアクティビティについて
合併してきたリジョンなので地区、リジョンの壁を越え広範囲で同時多発アクトを展開し、壁を感じる事なく連帯感を体感出来るアクティビティをしたい。
- ④ 他団体と協働（共催アクティビティ）について
8月の平成淀川花火大会翌日清掃ボランティアを昨年は2R(旧3・4R)で行ったが、今年は1Rと合同アクティビティとし、大阪青年会議所(大阪JC)と共催で開催致します。
- ⑤ リジョン内新会員の交流と育成について
今年度内に懇親会を実施したい。
- ⑥ ハーモニー100キャンペーンについて
100%達成します。MJFについては昨年度同等以上に協力していただく。
- ⑦ 組織改革（スモールクラブ・事務局・リジョン・ゾーン等）について
今期特に重視すべき項目
大切なのは行動に出る事だと思う。但し、理解を深め、友愛の精神に於いて真摯になる為に話しあいを深める事。
- ⑧ その他 特筆すべき事項
少人数クラブ、高齢化クラブなど現状のアクティビティを行うには困難であるなどの声も聞けるが、そうではなくクラブそれぞれが出来る事は無限であるので、先ずは何より出来る事の行動を推進していく。